

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月4日

上場会社名 株式会社ユタカ技研 上場取引所 東
 コード番号 7229 URL <https://www.yutakagiken.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 青島 隆男
 問合せ先責任者（役職名） 事業管理本部長（氏名） 水野 善広（TEL）053-433-4111
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	83,356	△5.8	2,374	△12.9	3,278	36.8	2,006	53.9	1,795	59.2	2,322	—
2025年3月期中間期	88,524	△14.8	2,726	△14.4	2,397	△36.6	1,303	△47.5	1,128	△46.5	△527	—

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	121.15	—
2025年3月期中間期	76.10	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり 親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	169,992	113,102	103,682	61.0	6,997.03
2025年3月期	168,408	111,550	102,159	60.7	6,894.20

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	36.00	—	36.00	72.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	162,000	△9.6	6,800	7.1	7,000	3.1	4,900	△2.8	4,200	△7.7
										283.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	14,820,000株	2025年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,949株	2025年3月期	1,949株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	14,818,051株	2025年3月期中間期	14,818,099株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結包括利益計算書	5
(3) 要約中間連結持分変動計算書	6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経済環境は、国内では雇用・所得環境の改善や企業による堅調な設備投資が見られたものの、物価上昇傾向が継続しており、個人消費には抑制的な影響が及んでいます。これらを背景に、景気は総じて期待した持ち直しとはなりませんでした。

米国経済においては、関税政策により企業の輸入コストが増加し、収益を圧迫する状況が続いています。これに伴い、企業の雇用計画にも慎重な姿勢が見られ、雇用環境の悪化が個人消費の減退につながるなど、景気の先行きに対する不透明感が一層強まっています。また、中国経済については、米国以外からの堅調な輸出需要が景気を下支えしたものの、個人消費の回復は鈍く、不動産市場の低迷も長期化しています。加えて、企業活動や雇用の停滞も見られ、景気全体としては回復力に乏しい状況が続いています。

当社グループに関係する自動車業界においては、米国第一主義を発端とした貿易戦争による影響や中国市場での日本車販売不振、電気自動車の世界的需要減速に伴う一部完成車メーカーのEV戦略の見直しに加え地政学的リスクの高まりも続いており、いまだ先行き不透明な状況です。

このような環境の中、当社グループは、為替変動による円高影響や顧客からの受注減に加え、資本構成変更対応費用の増加や早期退職の募集に伴う退職金の計上等により、当中間連結会計期間の売上収益は、833億5千6百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益23億7千4百万円(前年同期比12.9%減)、税引前中間利益32億7千8百万円(前年同期比36.8%増)、中間利益20億6百万円(前年同期比53.9%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益17億9千5百万円(前年同期比59.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(日本)

売上収益は主に顧客からの受注増により増加、利益面においては、増収効果はあったものの資本構成変更対応費用の増加等により減少し、売上収益207億3千9百万円(前年同期比1.8%増)、営業損失2億5百万円(前年同期は営業利益2億8千2百万円)となりました。

(北米)

顧客からの受注増はあったものの、為替変動による円高影響により売上収益は減少、利益面においては、受注増による増収や費用削減施策の効果等により増加し、売上収益329億9千7百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益10億4千4百万円(前年同期比76.9%増)となりました。

(アジア)

為替変動による円高影響に加え、早期退職の募集に伴う退職金の計上等により、売上収益165億1千万円(前年同期比3.1%減)、営業利益10億7千5百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

(中国)

為替変動による円高影響に加え、顧客からの受注減により、売上収益203億6百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益3億7千万円(前年同期比6.0%減)となりました。

(その他)

売上収益は顧客からの受注増により増加、利益面においては、前期発生した税金費用の還付等が無くなったことにより、売上収益は7億2千9百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益9千5百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

(注) 上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、有形固定資産の減少はありましたが、主に営業債権及びその他の債権の増加により、前連結会計年度末に比べ15億8千5百万円増加し、1,699億9千2百万円となりました。

負債につきましては、営業債務及びその他の債務の減少はありましたが、主にその他の流動負債の増加により、前連結会計年度末に比べ3千3百万円増加し、568億9千万円となりました。

資本につきましては、利益剰余金及びその他の資本の構成要素の増加により、前連結会計年度末に比べ15億5千2百万円増加し、1,131億2百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億3百万円減少し、404億4千2百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は40億6千4百万円(前年同期は50億5百万円の使用)となりました。これは主に税引前中間利益や減価償却費及び償却費、預り金の増加による収入が、営業債権及びその他の債権の増加や営業債務及びその他の債務の減少による支出を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は32億3千7百万円(前年同期は15億2千4百万円の使用)となりました。これは主に合理化投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は14億3百万円(前年同期は55億8百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期決算短信〔I F R S〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、第3四半期連結会計期間以降の想定為替レートは1米ドル146円、1人民元20円としております。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,762	42,622
営業債権及びその他の債権	50,308	53,041
棚卸資産	23,788	23,623
その他の流動資産	1,568	1,857
流動資産合計	118,426	121,143
非流動資産		
有形固定資産	43,899	42,484
無形資産	862	874
退職給付に係る資産	2,444	2,591
繰延税金資産	2,009	2,134
その他の非流動資産	768	766
非流動資産合計	49,981	48,849
資産合計	168,408	169,992
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	47,527	44,804
未払法人所得税等	380	749
その他の流動負債	5,275	7,772
流動負債合計	53,182	53,324
非流動負債		
退職給付に係る負債	1,567	1,597
繰延税金負債	30	20
その他の非流動負債	2,079	1,949
非流動負債合計	3,676	3,566
負債合計	56,858	56,890
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	1,273	1,273
利益剰余金	89,061	90,322
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	10,075	10,336
親会社の所有者に帰属する持分合計	102,159	103,682
非支配持分	9,391	9,420
資本合計	111,550	113,102
負債及び資本合計	168,408	169,992

(2) 要約中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	88,524	83,356
売上原価	77,570	72,054
売上総利益	10,954	11,302
販売費及び一般管理費	8,439	8,129
その他の収益	347	227
その他の費用	136	1,026
営業利益	2,726	2,374
金融収益	359	918
金融費用	688	14
税引前中間利益	2,397	3,278
法人所得税費用	1,093	1,272
中間利益	1,303	2,006
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△3	2
純損益に振替えられることのない項目合計	△3	2
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,828	313
純損益に振替えられることのある項目合計	△1,828	313
その他の包括利益(税引後)合計	△1,831	316
中間包括利益	△527	2,322
中間利益の帰属		
親会社の所有者	1,128	1,795
非支配持分	176	211
中間利益	1,303	2,006
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△675	2,057
非支配持分	148	265
中間包括利益	△527	2,322
1株当たり中間利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり中間利益(円)	76.10	121.15

(3) 要約中間連結持分変動計算書

(単位: 百万円)

区分		親会社の所有者に帰属する持分				
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素 その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
2024年4月1日残高		1,754	1,273	86,304	△3	17
中間利益				1,128		
その他の包括利益						△2
中間包括利益		—	—	1,128	—	△2
配当金				△741		
所有者との取引等合計		—	—	△741	—	—
2024年9月30日残高		1,754	1,273	86,690	△3	15

区分		親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
		その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
		在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2024年4月1日残高		10,874	10,891	100,218	9,602	109,820
中間利益			－	1,128	176	1,303
その他の包括利益		△1,801	△1,803	△1,803	△28	△1,831
中間包括利益		△1,801	△1,803	△675	148	△527
配当金			－	△741	△313	△1,054
所有者との取引等合計		－	－	△741	△313	△1,054
2024年9月30日残高		9,073	9,088	98,802	9,436	108,238

(単位：百万円)

区分		親会社の所有者に帰属する持分				
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素
						その他の包括利益 を通じて公正価値 で測定する金融 資産の純変動
2025年4月1日残高		1,754	1,273	89,061	△3	18
中間利益				1,795		
その他の包括利益						2
中間包括利益		—	—	1,795	—	2
配当金				△533		
所有者との取引等合計		—	—	△533	—	—
2025年9月30日残高		1,754	1,273	90,322	△3	20

区分		親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
		その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
		在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2025年4月1日残高		10,056	10,075	102,159	9,391	111,550
中間利益			—	1,795	211	2,006
その他の包括利益		260	262	262	54	316
中間包括利益		260	262	2,057	265	2,322
配当金			—	△533	△236	△770
所有者との取引等合計		—	—	△533	△236	△770
2025年9月30日残高		10,317	10,336	103,682	9,420	113,102

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	2,397	3,278
減価償却費及び償却費	4,559	3,828
金融収益及び金融費用(△は益)	△251	△883
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	5,866	△2,823
棚卸資産の増減額(△は増加)	△936	170
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△5,635	△1,227
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	26
預り金の増減額(△は減少)	△9,352	2,458
その他	481	△203
小計	△2,851	4,624
利息の受取額	357	255
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△125	△13
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,386	△802
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,005	4,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△69	△79
有形固定資産の取得による支出	△1,456	△3,139
有形固定資産の売却による収入	77	82
無形資産の取得による支出	△81	△99
貸付けによる支出	△1	△4
貸付金の回収による収入	6	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,524	△3,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,153	—
リース負債の返済による支出	△302	△332
長期借入金の返済による支出	△191	—
配当金の支出額	△738	△534
非支配持分への配当金の支出額	△1,124	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,508	△1,403
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	273
現金及び現金同等物の減少額	△12,023	△303
現金及び現金同等物の期首残高	46,925	40,745
現金及び現金同等物の中間期末残高	34,902	40,442

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び当社の子会社においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に担当取締役・地域本部長等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しており、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他) 自動車部品二輪 汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品、その他)
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品) 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪(排気系部品、駆動系部品)
その他	ブラジル	自動車部品四輪(排気系部品)

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2) (注3)	要約中間 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	14,927	35,485	16,111	21,330	671	88,524	—	88,524
セグメント間の内部 売上収益(注1)	5,440	189	931	818	1	7,377	△7,377	—
計	20,367	35,674	17,041	22,148	672	95,902	△7,377	88,524
営業利益	282	590	1,172	394	139	2,577	149	2,726
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	359
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	688
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	2,397

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2) (注3)	要約中間 連結財務諸 表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	15,283	32,870	15,335	19,139	729	83,356	—	83,356
セグメント間の内部 売上収益(注1)	5,456	127	1,174	1,167	0	7,924	△7,924	—
計	20,739	32,997	16,510	20,306	729	91,280	△7,924	83,356
営業利益	△205	1,044	1,075	370	95	2,379	△5	2,374
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	918
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	14
税引前中間利益	—	—	—	—	—	—	—	3,278

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。